
THELoveバレンタインデー

彌劔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

THE Loveバレンタインデー

【Nコード】

N5952D

【作者名】

彌劔

【あらすじ】

ある少年と少女のバレンタインの当日の話です

（前書き）

まだ投稿しました。
感想をどうぞ

今日は何の日

そうバレンタインデーの日 愛しい君のチョコを貰う為にわくわくとどきどきが止まらない。けど 何より君の歌声が好き。だってあの桜はな 願い叶う木何だよ。君の歌声が奏でる歌に 自分も頑張って作った曲を送ろう。それは君とのLoveストーリー！。

え、何で此処に読んだかって？

この木はね、自然といると落ち着いて自分でも不思議な位綺麗な声出せるからだよ。

そしてこの歌は君しか聞かせたくないから。そして今二人だけだから、今此処で言おうと思う。

「愛してる」

と恥ずかしいけど君と一緒にいると何だって出来るから。

え、君からプレゼントあるって

嬉しいな。何だろ。

え、目瞑って欲しいって？分かった君がそういうなら目瞑るよ

そしたら私の唇と君の唇が近づいて暖かくて優しい気持ちが流れてきた。え、私にキスしたって もうかつこつけて、でも許してあげますよ。だって私の未来の旦那様だもの

え、恥ずかしいだったら。ふふ、君の真つ赤にした顔可愛いもん 何時だって私の為に頑張ってくれるし、愛してくれる。でもね私も同じなんだよ、君と一緒に歩きたい離れたく無いその温もりをいつまでも感じたい だから 私は頑張ってるんだよ

それは貴方だけの歌姫なんだもの

俺は君の事に一目惚れし。君に全て捧げた。そう、あの日チヨコを渡した日から、君との距離は縮まった。10合った距離が一気に1になる位に

だから

「君に

この指輪に捧げよう

愛してると言う

言

葉に」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5952d/>

THELoveバレンタインデー

2010年10月9日04時11分発行